

2023年3月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済については、個人消費が緩やかに持ち直しているが
物価上昇による悪影響が懸念される

内閣府の月例経済報告（2023年3月22日公表）において、「景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」との判断が維持された。個別項目については、生産と企業収益において判断が引き下げられた。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に2月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「住宅建設」、「設備投資」、「公共投資」、「輸出」のいずれについても、前月の判断が維持された。

② 企業活動に関しては、「業況判断」、「倒産件数」については判断が維持されたが、「生産」、「企業収益」はいずれも判断が引き下げられた。「生産」については、昨年12月に続いての下方修正となった。輸送機械で持ち直しの動きに足踏みがみられ、生産用機械はこのところ弱含んでいる。

③ 雇用情勢に関しては、「持ち直している」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」は「このところ上昇テンポが鈍化している」となり、「消費者物価」については、「上昇している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている」との判断が維持された。ただし、国・地域別では中国について判断が引き上げられる一方で、ヨーロッパ地域の景気判断が引き下げられた。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（全店、2月）は、前年比3.0%増となり、5か月連続で前年を上回った。前年11月に県内の百貨店・スーパー店舗数が1店舗増加したことが増加要因と考えられるが、その他の既存店についても、販売額が前年を上回っている。肉類・魚類などの生鮮食品に加えて、飲料、酒類、乳製品、パン類、一般食品の価格が上昇しており、価格上昇が販売額の増加に寄与しているものと考えられる。また、前年2月は、県内に初めてコロナ禍に係る「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、人出状況は大きく悪化しており、百貨店を中心に販売額が大きく減少していた時期にあたる。そのため、今回の販売額増加はその反動増も要因の一つとなっている。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、2月）は、前年比30.4%増となり、6か月連続で前年を大きく上回った。ただし、世界的な半導体不足の影響に伴う新車の供給難は一昨年の6月頃から本格化しており、足下の販売台数の増加は、その影響の一巡によるところが大きい。半導体不足の影響は徐々に緩和傾向にあるものの、コロナ禍前（2019年2月）との比較では、販売台数は14.7%減となっており、依然としてその水準は低い。

新設住宅着工戸数（2月）は、前年比3.8%増となり、5か月ぶりに前年を上回った。2022年については、「分譲住宅」を中心に着工戸数は増加したが、足下では「持家」、「分譲住宅」が減少傾向にある。資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

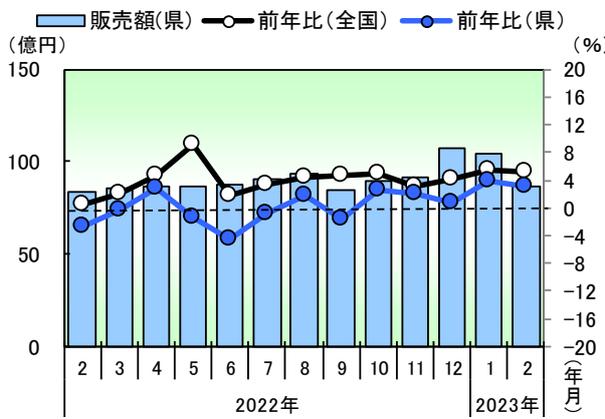
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（1月）は、3か月ぶりに下降した。はん用機械工業、生産用機械工業が堅調さを維持する一方で、主要業種である鉄鋼業が10か月ぶりに80台を下回り、電気機械工業が極めて低い水準まで低下している。

公共工事請負金額（2月）は、前年比16.8%減となり、6か月連続で前年を下回った。す
 さまみ串本道路関連工事などの発注は見られるものの、大型工事件数が減少している。その
 結果、前年4～2月までの累計請負金額は、前年同期比12.1%減となっている。県内請負金
 額は2019年度以降、持ち直し基調にあったが、21年度に減少に転じ、22年度についても
 減少が継続する見込みとなっている。

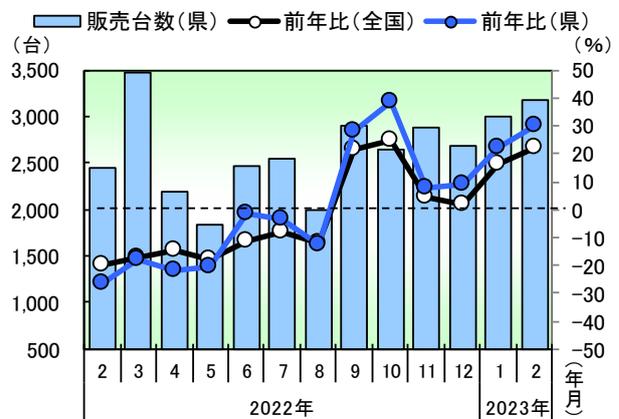
帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI（2月）は、前月から0.1ポイント上
 昇。今後の見通しについても、多くの業種で上昇が見込まれており、その上昇幅は足下で
 拡大している。ただし、物価上昇や人件費上昇の懸念もあることから、帝国データバンク
 は「県内景況感は緩やかな回復を見込みながらも、足下では一進一退の状況が続く」とし
 ている。

③雇用面については、有効求人倍率（2月）は、前月から0.04ポイント上昇し、1.20
 倍（上昇は2か月連続）。県内の有効求人倍率が1.2倍台を回復するのは、2020年2月以来、
 3年ぶり。有効求職者数が9か月連続で減少する中、有効求人数が8か月ぶりに増加に転じ
 た。ただし、足下の求人状況を見ると、製造業では2か月連続、医療・福祉では3か月連
 続で新規求人数が前年を下回っており、全体として減少傾向が見られる。

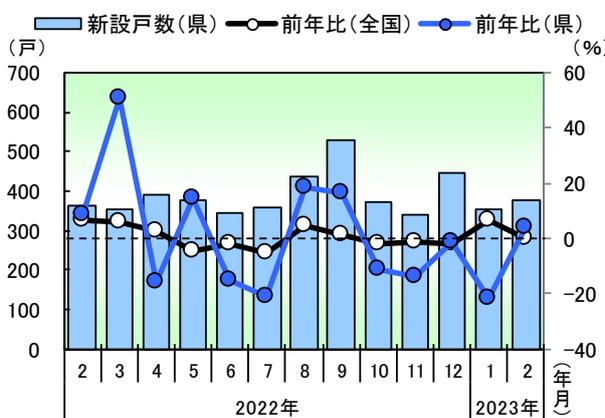
百貨店・スーパー販売額



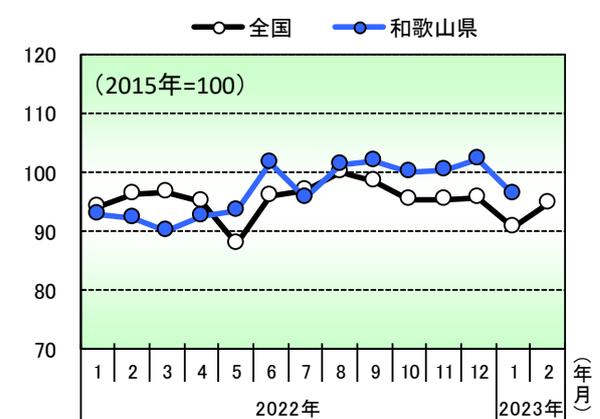
新車（登録車＋軽自動車）販売台数



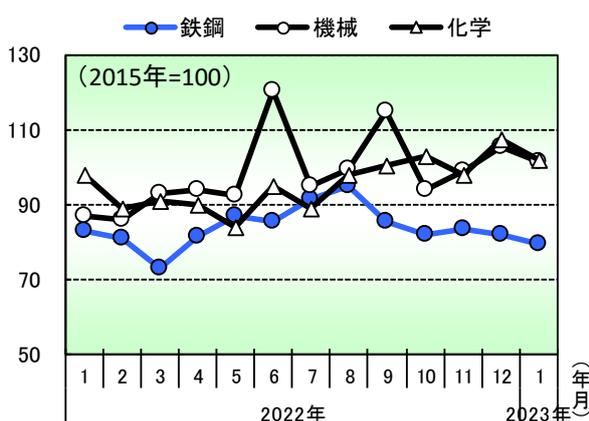
新設住宅着工戸数



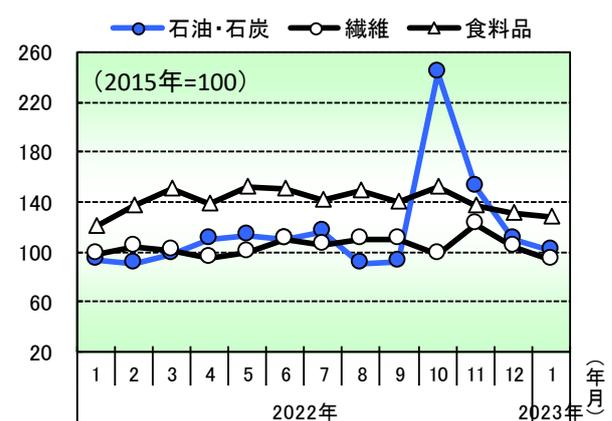
鉱工業生産指数



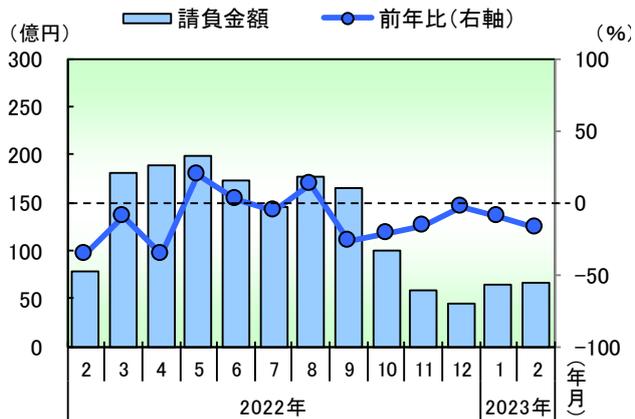
鉱工業生産指数(和歌山県)



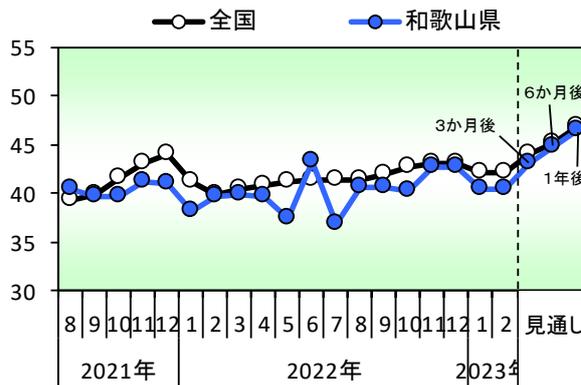
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

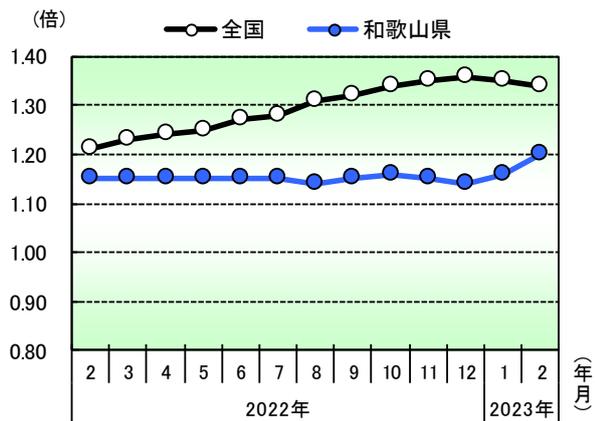


TDB景気DI (判断の分れ目は50)



(資料)株式会社帝国データバンク

有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2017年	1,237	0.0	-1.3	38,692	5.3	4.7	4,539	-0.3	-5.6
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年1月	100.6	3.0	-1.8	2,452	-15.6	-17.5	454	2.1	59.9
2月	84.2	0.5	-2.7	2,442	-19.8	-26.3	364	6.3	8.3
3月	85.2	2.1	-0.2	3,483	-17.0	-18.0	353	6.0	50.9
4月	86.5	4.6	2.9	2,200	-14.7	-21.7	389	2.4	-16.0
5月	86.8	9.1	-1.3	1,847	-18.2	-20.6	375	-4.3	14.3
6月	87.6	1.9	-4.5	2,461	-11.2	-1.6	344	-2.2	-15.1
7月	91.0	3.3	-0.8	2,543	-8.2	-3.1	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.0	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8

(2023年4月3日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100)									公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)		
2017年	103.1	109.2	107.1	120.1	102.8	100.7	105.7	117.1	1,292.6	-9.5		
2018年	104.2	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1		
2019年	101.2	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6		
2020年	90.9	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5		
2021年	95.7	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2		
2022年1月	94.3	93.0	83.0	87.1	98.0	93.6	98.0	119.8	72.0	16.5	38.2	
2月	96.2	92.4	80.9	86.1	89.1	90.4	104.0	137.1	79.1	-35.9	39.7	
3月	96.5	90.1	73.0	92.7	90.8	97.7	101.4	150.7	181.7	-9.3	39.8	
4月	95.1	92.7	81.4	93.9	89.7	110.3	95.3	139.2	189.2	-35.5	39.6	
5月	88.0	93.6	87.0	92.2	83.7	113.2	99.2	151.4	198.0	19.0	37.4	
6月	96.1	101.8	85.4	120.4	94.9	110.6	109.7	150.5	172.7	2.7	43.2	
7月	96.9	95.7	91.3	94.7	89.0	115.6	105.3	141.5	145.3	-5.5	36.9	
8月	100.2	101.2	95.1	99.6	98.1	89.8	109.4	149.1	176.8	12.5	40.6	
9月	98.5	101.9	85.3	115.0	100.4	91.4	110.1	139.8	166.1	-26.9	40.6	
10月	95.3	100.0	82.1	94.0	102.7	243.3	98.3	152.4	100.6	-21.2	40.3	
11月	95.5	100.4	83.2	99.1	98.1	151.3	122.2	137.2	58.5	-16.1	42.7	
12月	95.8	102.3	81.7	105.5	107.4	109.4	104.4	131.4	44.3	-2.3	42.6	
2023年1月	90.7	96.3	79.6	101.3	102.0	101.7	93.5	127.9	65.1	-9.6	40.4	
2月	94.8								65.8	-16.8	40.5	

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年4月3日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2017年	1.50	1.27	17,110	13,518	22.2	19.3
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年1月	1.20	1.17	17,331	14,819	12.0	12.7
2月	1.21	1.15	17,025	14,772	14.8	17.8
3月	1.23	1.15	16,943	14,742	18.7	21.9
4月	1.24	1.15	17,143	14,913	14.4	18.2
5月	1.25	1.15	17,305	15,110	17.0	19.7
6月	1.27	1.15	17,317	15,055	17.6	18.5
7月	1.28	1.15	17,247	14,977	13.4	16.4
8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8

(2023年4月3日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。